



特集

さんしこうえん

蚕糸公園

が生まれ変わりました。



公園イメージ図

舎、東南側の商業施設、南側の場から、北側の旧岡谷市役所庁舎、東南側の商業施設、南側の

満喫してください。

蚕糸公園は、昭和26年に岡谷市街地の中心に「三角公園」として整備されたのち、「糸都・岡谷」にふさわしい名前として昭和28年に「蚕糸公園」と命名され、72年の間市民のみなさんに愛され続けてきました。

街並みが見渡せるよう計画されています。旧岡谷市役所庁舎とも一体的な景観となるように、前庭も合わせて整備しました。これらの周辺施設と関わり合いながら、芝生の緑と四季折々の草花が楽しめ、イベント広場に多くの人が集う、新しい蚕糸公園にぜひ訪れ、「まちなかに

長年にわたり市民に愛されてきた蚕糸公園が、6月5日に、多くの人が集まり出会いと交流の場となる公園として生まれ変わりました。

①賑わいの拠点となるオープンスペース



岡谷市の市章をイメージしたサークルベンチや繭型のベンチを設置し、花壇や築山もある、花と緑があふれる空間。フットライトを配し、歩きたくなる空間を演出しました。





⑤ まちなかの憩いの広場



バス利用者や公園利用者の憩いの場としての屋根付きの空間。清水多嘉示作ブロンズ像「はばたき」を旧公園と同じ向きに設置。

④ 賑わいに繋がるイベント広場



※車両搬入等利用方法の詳細は土木課へお問い合わせください。

車両乗り入れが可能。キッチンカーやマルシェの農産物の搬入など、イベントの可能性が広がりました。

③ 季節や風を感じられる広場

歩道を芝生にすることで、緑豊かなまちなか空間を演出。既存樹のカエデやサルズベリ、シンボルツリーのしだれ桑を植樹した憩いの空間です。



武井直也作ブロンズ像「風」を移設し文化を継承しました。

② 旧庁舎の前庭空間



旧庁舎の前庭空間として、正面の位置に花壇を整備し、旧庁舎を美しく演出しました。



公園整備工事は令和5年1月から始まり、5月末に完了しました。
工事の様子を、写真とともに振り返ります。

蚕糸公園が できるまで

着工前



着工前

西側から見た着工前の蚕糸公園。
青々と樹木が繁っています。



樹木の伐採作業が終了

災害時の緊急輸送路を確保する観点から、樹木を整備しました。



旧庁舎周辺の高木を伐採

公園南側から旧岡谷市役所庁舎全体が見渡せるようになり、開放的な空間となりました。



南側の歩道と公園の境や園路が見えてきました

歩道が中央へ向かっているようすがわかります。園路や花壇、園地がゆるやかにアップダウンしているようすがわかります。



花壇に花を植付けました

JA信州諏訪、JA信州諏訪婦人部などのみなさんで、マリーゴールド・アゲラタム・ペゴニア・日日草・インパチェンスの5種類1300株の花を植え付けました。



着工



完成

6/5

リニューアルオープンセレモニー

リニューアルオープンセレモニーを開催して、多くのおみなさんに蚕糸公園の完成を披露しました。



岡谷市役所前交差点側の入り口から見た、賑わいの拠点となるオープンスペース



入り口に配した、御影石銘板



テープカットのようす



オープン翌日に来園し記念撮影をした小口保育園の年長さん

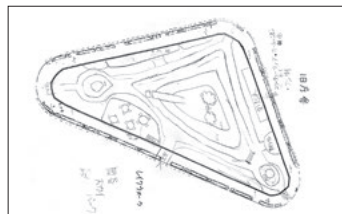
わたしたちも
一緒に考えました！

中学生の声

計画案を考えてくれた生徒さん2人に、計画に参加しての気持ちと、できあがった公園の感想を聞きました！

今回の蚕糸公園リニューアル計画に伴い、普段からボランティアで蚕糸公園の清掃をしている岡谷北部中学校の生徒さんたちが、「総合的な学習」の授業の一貫として、「蚕糸公園リニューアル計画案」を考えてくれました。実際の計画の参考にされたアイデアもあり、市民参加での公園リニューアル事業となりました。

グループで作った公園の図面と模型



蚕糸公園リニューアル計画で模型を作る時に、たくさんの方がいてにぎやかな公園がいいと思い、木を少なくして、日が当たりやすしたり、公園を見えやすくなるように考えました。リニューアルされた蚕糸公園は、木が少なくて日が当たりやすくなっていて案が取り入れられていました。自分たちが考えた案が本物の公園になってとてもうれしいです。

岡谷北部中学校3年 久保田 幸村 さん

イメージ通り、入りやすい公園になっていました。友だちとの休憩に使いたいです。

実際に行ってみて！

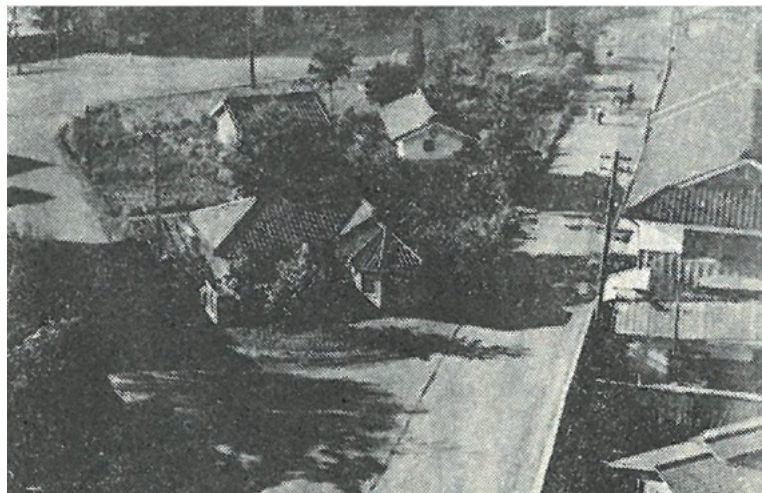
公園が明るくて入りやすかったです。買い物の後に、また行きたいです。

自分たちが作った模型を参考にしていただけるとはなんて思ってもみませんでした。「参考にさせていただきます」と言っていた時、本当に嬉しかったです。造られていく蚕糸公園を見てると自分たちの作った模型と重なる所が多くて参考にしてくれているなと感じました。公園が明るくなったことで、その周りも明るくなったような気がします。みんなに愛されるような場所になってほしいです。

岡谷北部中学校2年 宮澤 凌喜 さん



昭和26(1951)年頃



昭和24(1949)年

コラム 蚕糸公園の歴史



鳥瞰図の一部：昭和11(1936)年

蚕 糸公園は、道路に囲まれた三角形をしています。明治38(1905)年の岡谷駅開設に伴って、岡谷駅から平野村役場(旧岡谷市役所庁舎)から道路を挟んで南東あたりまで直線で道路を通すという計画があり、明治41(1908)年11月25日に開通し、この三角形の土地が生まれました。

この三角形の土地ですが、当初から公園だったわけではありません。昭和11(1936)年の鳥瞰図には家並みが描かれており、民家が建っていたことがわかります。昭和初期には製糸工場もありました。昭和24(1949)年の写真は、戦時中の昭和20(1945)年に行われた家屋強制疎開後の写真で、これ以前にはさらに多くの民家があったことがうかがえます。

その後、昭和26(1951)年に公園として整備され、当初は「三角公園」と呼ばれていました。公園整備以降、昭和27(1952)年には園内動物園に熊と猿を飼育するようになるなど、



平成20(2008)年



昭和52(1977)年



昭和31 (1956)年

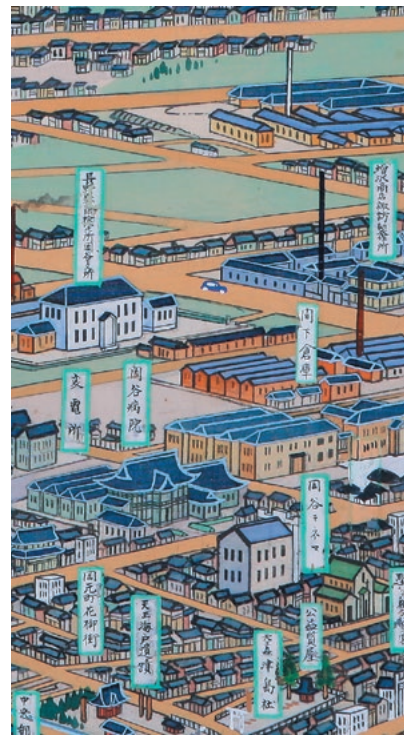


昭和28 (1953)年頃

内容を充実していく中で、正式名称を決めることとなり、昭和28(1953)年に公園名、熊・猿の名前の募集を行いました。そして、応募のなかから糸都岡谷にふさわしい名称として「蚕糸公園」が選ばれ、6月5日に命名されました(ちなみに、熊の名前はコ口助、猿の名前はチイ子)。

昭和後半頃には猿や孔雀等が飼われていましたが、その後園内動物園はなくなり、緑と池の公園となりました。

また、公園内には2体のブロンズ像が設置されています。1体は、武井直也作「風」で昭和33(1958)年6月3日に設置され、もう1体は清水多嘉示作「はばたき」で昭和36(1961)年10月15日に設置されました。



樹木伐採前の旧岡谷市役所庁舎



旧岡谷市役所庁舎 とのつながり。

今回の公園整備に合わせて復刻された、旧岡谷市役所庁舎の銘板

6月5日に点灯式が行われ、旧岡谷市役所庁舎のライトアップが始まりました。蚕糸公園の整備とともに旧岡谷市役所庁舎前の樹木を伐採し、蚕糸公園から美しく旧庁舎が見渡せるようになりました。

「旧岡谷市役所庁舎保全基金」を設置し、今年で3年目となりました。今後も市民の大切な財産である旧庁舎の保全をしまいります。引き続きこの取り組みに賛同して下さるみなさまのご協力をお願いいたします。

■問合せ

蚕糸公園：土木課(内線1320)

旧岡谷市役所庁舎：企画課(内線1523)



ライトアップされた旧岡谷市役所庁舎：毎日 午後7時～10時に実施